

栃木県生協連・2010年度5月定例報告

2011年5月12日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 4月活動日誌

日付	曜日	日誌
4月1日	金	大田原市、矢板市、那須烏山市、茂木町へのお見舞い
3日	日	NPOサポートネット理事会
4日	月	とちぎ農産物マーケティング協会・放射性物質の農産物への影響についての情報交換会
5日	火	県連暮らし部会
7日	木	食の安全ネットワーク世話人会
10日	日	栃木県「放射線・放射能に関する講演会」
12日	火	県連福祉事業委員会世話人会
13日	水	新県民生活部長訪問
14日	木	働く人の相談センター理事会
15日	金	県連常務理事会
17日	日	NPOとちぎVネットの集い
19日	火	県連監事監査(実査)
20日	水	県防災訓練全体会議(中止)
21日	木	中央地連都県連責任者会議
22日	金	エコライフネットワーク総会
25日	月	消費者ネットワーク全体会
27日	水	暮らし部会「放射性物質の健康影響学習会」
28日	木	労協協幹事会、県地産地消幹事会
29日	日	労協協福祉まつり(中止)

東日本大震災を受けてまとめは概況とします。この間の震災対応は別紙を参照ください。

(2) 4月活動の概況

(東日本大震災への対応)

3月11日14時46分頃発生した東日本大震災は、東北3県(岩手、宮城、福島)をはじめ茨城、栃木、千葉などそれぞれに大規模な被災をもたらし、福島県では原発事故による放射性物質による問題が継続しています

会員生協などの対応は、震災対応の第19報を参照ください。

(暮らし部会)

4月27日拡大学習会として、「放射性物質の健康影響学習会」が開催された。自治医大RIセンターの菊地透先生にお願いし、医療の立場から放射性物質からの健康影響について、講演をいただいた。アンケートからは、科学的に考えることの必要性と過剰に反応することのないようにしたいなど、今不安に思っていることに話がされて良かったなどの声が寄せられた。食の安全ネットワークの関係者にも呼びかけ、行政、事業者の方を含め約75名の参加があった。

4月12日福祉事業委員会世話人会では、2011年度の活動について検討された。内容は介護保険事業に限定せずに交流・情報交換することとし、名称の変更を含め検討することとした。

(食の安全の関連)

4月7日食の安全ネットワーク世話人会が開催され、2011年度計画について意見交換がされた。その中で補助金の対象にはならなくても県との協働活動は、継続する方向性を全体会に提案することが確認された。

(消費者課題の関連)

4月25日の消費者ネットワーク全体会では、2011年度計画案について意見交換された。消費者行政について市町との関係づくりの継続として、11年度は町への訪問活動と市へのアンケート等検討することとした。

(県及び他団体との協働)

4月10日県(健康増進課)の主催で、「放射線・放射能に関する講演会」が開催された。時期的に県内の関心も高く、日曜にも関わらず約400名の参加あった。

4月20日に今年の県と那須烏山市共催の防災訓練に関する全体会が予定されていた。那須烏山市が被災世帯も多いなど開催について検討されていたが、平成24年度に延期されることになった。

4月29日労福協「福祉まつり」が予定されていたが、震災の関係で中止とすることが決まった。

(3) 5～7月の課題

1. 5～7月部会・委員会活動の推進
2. 5～7月のネットワーク活動(食の安全ネット全体会、消費者ネット全体会)の推進
3. 第42回通常総会議案書案の理事会と会員論議
4. 第42回通常総会に向けた諸準備と成功
5. とちぎの農業応援と協同組合間連携の検討
6. 震災被災地へのボランティア派遣検討